

【第205回国会（臨時会）】

1 内閣総理大臣の指名

令和3年10月4日、本院本会議において、記名投票の結果、岸田文雄君が内閣総理大臣に指名された。また、参議院本会議においても、岸田文雄君が指名された。

2 国務大臣の演説及び質疑

令和3年10月8日に岸田内閣総理大臣の所信表明演説が衆議院本会議において行われ、これに対して、同月11日及び12日に各会派の代表質問が行われた。

(1) 岸田内閣総理大臣の所信表明演説



岸田内閣総理大臣の所信表明演説（第205回国会）

【1 はじめに】

第205回国会の開会にあたり、新型コロナウイルスによりお亡くなりになられた方々、そして御家族の皆様方に心よりお悔やみを申し上げるとともに、厳しい闘病生活を送っておられる方々に心よりお見舞いを申し上げます。

また、我が国の医療、保健、介護の現場を支えて下

さっている方々、感染対策に御協力をいただいている事業者の方々、そして国民の皆様方に、深く感謝を申し上げます。

新型コロナとの闘いは続いています。

こうした中、このたび、私は、第100代内閣総理大臣を拝命いたしました。

私は、この国難を国民の皆さんと共に乗り越え、新しい時代を切り拓き、心豊かな日本を次の世代に引き継ぐために、全身全霊を捧げる覚悟です。

私が書きためてきたノートには、国民の切実な声があふれています。

一人暮らしで、もしコロナになったらと思うと不安で仕方がない。

テレワークでお客が激減し、経営するクリーニング屋の事業継続が厳しい。

里帰りができず、1人で出産。誰とも会うことが出来ず、孤独で、不安。

今、求められているのは、こうした切実な声を踏まえて、政策を断行していくことです。

まず、喫緊かつ最優先の課題である新型コロナ対応に万全を期します。国民に納得感を持ってもらえる丁寧な説明を行うこと、常に最悪の事態を想定して対応することを基本とします。

また、新型コロナで大きな影響を受ける方々を支援するため、速やかに経済対策を策定します。